

昭 和 2 年 7 月 13 日

派遣成果報告書

有田市議会議長 様

議員氏名

中谷 桂三



有田市議会の議員派遣に関する要綱第5条の規定により、下記のとおり報告します。

記

研修名	決算状況「財政収支」
研修期間	令和2年7月10日(金) ~ 2年7月10日
研修場所	1 全国市町村国際文化研修所（大津） 2 市町村職員中央研修所（千葉） ③ 地方議員研究会（大阪） 4 その他（ ）
研修の成果	別紙のとおり

※ 「研修の成果」は研修内容や所感などを具体的に別葉に作成して添付してください。

※ 研修先から交付される「終了証」等を添付してください。

出張復命書[議員派遣(7/10)]

令和2年7月13日

有田市議会議員

中谷 桂三

〈 経過及び結果 〉

1. 「地方議員研究会」のセミナー参加

7/10(金) 10時～12時30分

アフターコロナ時代に生き残る、自治体財政特別講座。「決算状況(財政収支)」

2. 講師

森 裕之 (もり ひろゆき) 氏

立命館大学政策科学部教授、博士(政策科学)

〈 講義内容と出張者の意見 〉

1. コロナと自治体財政

コロナ対策の現況

2. 自治体財政の収支状況(決算書の見方)

(1) 歳入歳出差引(形式収支)

歳入決算額から、歳出決算額を単純に差し引いた額。

(2) 実質収支

形式収支から、事業繰越等に伴い、翌年度に繰り越すべき財源を差し引いた額。

(3) 単年度収支

当該年度の実質収支から、前年度実質収支を差し引いた額。

(4) 実質単年度収支

単年度収支に、当該年度に措置された黒字要素および赤字要素を除外して、実質的な単年度収支を表した額。

3. 家計で財政収支を考える

自治体の財政収支を、家計に置き換えて、考えると、判りやすい。

4. 赤字団体の状況（平成30年度）

都道府県・市町村区分の赤字団体の状況。

5. 他市の参考事例と有田市の平成30年度決算状況について

(1) 新潟市

119億円の財源不足を発生。単年度収支は、黒字である。繰入金(財政調整基金)でカバーし続けた結果、財源不足に。

(2) 浜松市

実質単年度収支が、プラスとマイナスの繰り返し。

通常のパターンである。

(3) 交野市

土地開発公社保有のため、補填するためには、黒字を目指す。黒字に残すよりは、市民サービスにお金を有効に活用すべき。

議員は、収支状況の区分を、良く理解して、単純に赤字・黒字結果だけで、判断をしてはいけない。参考事例の、浜松市を見本として、1年だけではなく長い目で、自治体財政を経過観察すべきと、理解出来ました。また、市民に対しての、正しい財政状況の説明は、行政側の責務と感じました。今後の、市長との市民説明会には、市の財政状況の説明を必ず、入れるようにお願いします。